

**製品名: ACSVL4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06539**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	SLC27A4
別名	SLC27A4; ACSVL4; FATP4; Long-chain fatty acid transport protein 4; FATP-4; Fatty acid transport protein 4; Solute carrier family 27 member 4
遺伝子 ID	10999.0
SwissProt ID	Q6P1M0
免疫原	抗血清はヒト SLC27A4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

**背景**

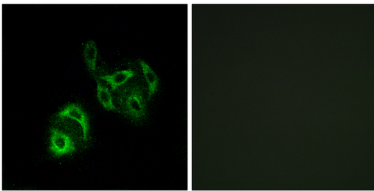
この遺伝子は、長鎖脂肪酸の細胞膜透過に関与する脂肪酸輸送タンパク質ファミリーの一員をコードしています。このタンパク質

は、小腸の成熟腸管上皮細胞の頂端側で高発現しており、腸管上皮細胞における主要な脂肪酸輸送体と考えられます。臨床研究では、この遺伝子がインスリン抵抗性症候群の候補遺伝子であることが示唆されています。この遺伝子の変異は、未熟児魚鱗癬症候群と関連付けられています。[RefSeq 提供、2010年4月]、機能：長鎖脂肪酸（LFCA）の細胞膜透過に関与。小腸腸管上皮細胞における主要な脂肪酸輸送体と考えられます。表皮バリアの形成に役割を果たします。初期胚発生における脂肪吸収に必要です。長鎖および極長鎖脂肪酸に対するアシル CoA リガーゼ活性を有する。、その他：SLC27A4/FATP4 を介した脂肪酸の取り込みは、インスリン抵抗性に関連するパラメータと関連しており、インスリン抵抗性は肥満などの脂肪酸代謝および恒常性の乱れと関連している。SLC27A4/FATP4 の発現は、後天性肥満と正の相関関係にある。、類似性：ATP 依存性 AMP 結合酵素ファミリーに属する。、組織特異性：脳、精巣、結腸、腎臓で最も高いレベルで発現する。心臓、肝臓、小腸、胃では中程度のレベルで発現する。末梢白血球、骨髄、骨格筋、大動脈では低いレベルで発現する。脂肪組織でも発現する。、

## 研究分野

PPAR;

## 画像データ



SLC27A4 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。